

身近な友達同士ライバルとして切磋琢磨できる

M. A.

東北大学 理学部 地球科学科 進学
東海村立 東海中学校 卒業

茨高の学習面での良いところは自分のやりたいことを実現するためのサポートが充実しているところです。1年から3年まで長期休みを含めて課外授業が豊富に行われており、常に自分に必要な学習のできる環境が整っています。特に3年生の後期になると難関大を目指す生徒向けに大学別課外や模試が組まれ、短い時間の中で合格をつかむための対策ができました。また、朝早くから夜遅くまで自習室が解放されているため自分の納得のいくまで勉強をすることができます。私は家では集中して勉強できなかったのが自習室を毎日活用して勉強していました。周りに同じように勉強に励む人が多いこともとても刺激になります。進路指導に関して、具体的な夢を持っている人にはその夢をかなえるためのベストな進路を、具体的な夢を持っていない人の進路相談も先生方は親身になって考えてくださいます。私は興味のある学問分野がいくつかあったことで大学の学部や学科の選択で悩んでいましたが、先生方に相談してアドバイスをいただいたり自分の思っていることを言葉にしたりするなかで後悔のない選択ができました。

私の所属していた競技かるた部は中学生と高校生が合同で練習を行っているため、幅広い学年でのつながりを持つことができました。部活前の時間に部室で中学の後輩の勉強を教えるなど中高一貫校ならではのかわりも通して歳が離れていながらも部活全体が仲良く活動することができました。学校行事は主に文化祭やクラスマッチがあります。私たちの文化祭はコロナウイルスの影響で制限がある中での開催でしたが、感染対策を取り入れた工夫を凝らした催し物を準備したことでクラスの団結力も高まったように感じます。これからコロナウイルスによる規制が少なくなってきて研修旅行も実施されると海外でしかできない経験も積むことができると思います。

茨高は学校内でテストなどの順位がみられるので身近な友達同士ライバルとして切磋琢磨でき、勉強のモチベーションにもなりました。そのような学習面での刺激がある一方、英語以外の普段の授業では成績関係なくクラスが組まれているためクラスみんなが平等に仲良く、お互いの得意な教科を教えあうなどできるところは茨高の良いところだと思います。一貫生とのかかわりに関して高入生として部活に入ることなどにははじめは不安もありましたが、部活をやっていくうちに一貫生・高入生の隔たりなく部活全体で仲良くなれます。また、クラスは3年から一貫生と同じになりますが、文化祭やクラスマッチにむけて共同作業を行うことで打ち解けることができました。3年生になってできた違う環境で勉強してきた友達からは学ぶことも多く、新しい視野を持つことができたと思います。

大学では地球科学科でも幼いころから興味を持っていた宇宙と生物の狭間の学問であるアストロバイオロジーを学びたいと考えています。高校生活で得た広い視野と探究心をもちながら自分の興味を追求していきたいです。